

学校教育



習志野市「産地キヤラ
「クラブドル」

Narashino Municipal
Board of Education

だより

令和5年10月25日 発行

No. 136

発行・編集 習志野市教育委員会

☎ 047-451-1151 (代表)



習志野市ホームページ

学校教育だよりはこちら
からもご覧いただけます

地域が大きな学校に

学校と連携・協働



地域学校協働活動「田植え体験」
実籾小学校

今年も残すところ2ヶ月余りとなり、令和5年度も折り返しの後半戦です。136号の表紙では実籾小学校の「田植え体験」の様子を紹介します。習志野市内の小中学校では、4月に立てた計画をもとに地域学校協働活動が進められています。現代はVUCA時代（未来を見通しにくい時代）と呼ばれ、学校においては、いじめや不登校、貧困などをはじめ、児童生徒を取り巻く問題が複雑化・困難化しています。それらの問題を解決するためには、学校と地域がパートナーとなり、社会全体で未来を担う児童生徒を支えていくことが重要です。習志野市でも学校と地域が連携・協働し、一つの大きな社会となって児童生徒を健やかに育てていきます。

本号では、地域の方を交えた取り組みや秋をテーマに各学校の特色ある教育活動を紹介いたします。（文責 教育総務課 佐藤）

《第 1 3 6 号》

「秋・地域とともに歩む学校づくり」

《目 次》

「田植え体験」(実籾小)	… 1
地域学校協働活動(袖西小・実籾小・四中)	… 2
こどもサンパ・食に関する指導(谷津小学校)	… 3
音楽コンクール・総体関東大会 結果	… 4
千葉県中学校英語発表会	… 5
防火防災ポスター展・防犯ポスター展	… 6
研修特集・AI型デジタルドリル	… 6
県民大会結団式	… 7
地域のスポーツ・ロータリークラブ感謝状贈呈式	… 8
特色ある教育活動紹介 ～秋津小～	… 9
習高ニュース・教育長コラム	… 10



○134号でお伝えした地域学校協働活動が創意工夫のもと各学校で行われています。

袖ヶ浦西小学校 (和太鼓体験)

皆の気持ちを合わせて一つの演奏を作り出す大切さを教えて頂きました。



伝統芸能「和太鼓」がつなぐ地域の絆

袖ヶ浦西小学校では、約20年前より3学年児童が「和太鼓そでっ鼓連」の皆さんに出前授業として「神着木遣(かみつききやり)太鼓」を教えてくださいたいです。お腹の底に響く音、「構え」の決めポーズ、そして礼儀作法と日本の伝統芸能に親しむ貴重な体験といえます。11月に実施される「和太鼓in習志野」では、地域で受け継がれている伝統の音色「ドングドンドン ステテコドンドン！」を皆さんの心と体に響かせられるようがんばって練習に励んでいます。(教頭 大津 真紀)



実籾小学校 (田植え体験)

自然に学ぶ ~豊かな自然の中、地域全体で子どもを育てる~

実籾小学校では、5年生が米の栽培をしています。この学習は毎年「郷(さと)の会」という地域の方に支えられています。田植えでの苗の持ち方から、収穫での鎌の使い方まで、年間を通して関わってくださり、子どもたちは実体験を通して学んでいます。今年もたくさんのお米が実り、会の皆さんと子どもたちで収穫しました。専門的な知識や技能が必要な学習は、教員だけで行うのは大変ですが、地域の方に支えていただくことで充実した学習となっています。(教頭 白戸 雄一)



自分たちが普段食べるお米を、苗から育てることで、食べ物を作ることの苦勞とやりがいについて学びました。

【育った稲を収穫する様子】



第四中学校 (野菜作り体験)

「畑の達人」から学ぶ



第四中学校では、9組(特別支援学級)の生徒が畑を作り、汗をかきながら一生懸命に野菜を育てています。しかし、畑作業に詳しい職員はおりません。そこで、地域学校協働活動推進委員の石田正美さんに相談したところ、さくら農園(園主)の櫻井勝子さんをご紹介いただきました。まさに「畑の達人」です。土づくり・種の蒔き方・肥料について生徒も職員も直接学ぶことができました。今夏はピーマン、ナスなどの野菜がたくさん収穫され、9組の生徒たちの誇らしげな笑顔が生まれています。(教頭 小野 章)

様々な人との関わりが子どもたちの社会性を育てています



みんなで元気に きらっとサンバ!

10月8日(日)に習志野市の市民まつり「習志野きらっと2023」が開かれました。市役所前の道路がパレード会場となり、市内12の幼稚園やこども園の園児たちが踊る「こどもサンバ」が行われ、大人を含め約600人が元気に踊りました。地域の祭りに子どもたちが参加し、習志野への思い入れや愛着、ふるさと意識を高めています。

(文責 教育総務課 佐藤)



【リズムに合わせて踊る屋敷幼稚園と東習志野こども園の園児】

わくわく食育 ～残菜を減らす取り組み～ (谷津小学校)



各学校では、児童生徒の発達段階に応じて食生活に対する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう、学校教育活動全体で食に関する指導を行っています。今回は、谷津小学校の取り組みを紹介いたします。(文責 学校教育課 城崎)

谷津小学校の「残菜量」を減らす取り組みの一部を紹介します。



谷津小学校 栄養教諭 高橋 さゆり
学校栄養職員 須田 陽



残菜を計量します

谷津小学校の給食室では毎日残菜量を計っています。担任の先生にクラスごとの残菜量をお知らせしたところ、あるクラスでは、学級活動に取り入れてくれました。

「自分たちのクラスは、どうしたら給食の残菜量を減らせるのか?」と全員が考え、解決案を話し合ったことで、毎日1kg以上残っていたご飯が、ほとんど残らなくなりました。

谷津小学校では、教職員の食に対しての意識が高く、自然に栄養士へ食育の相談があります。今後も児童と教職員が一体になって食の興味関心を高めていきたいと思っています。

残菜を減らす
対策を
教室に掲示!



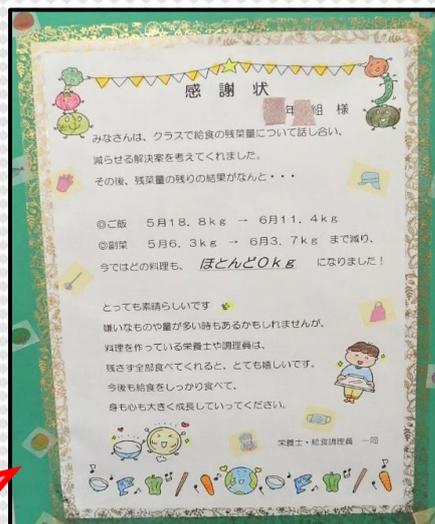
年組 給食の残食量対策

目的：完食を目指すのではなく、少しでも残食量を減らすこと

- ①給食当番は、盛り付ける量を調整し、できるだけ食缶を空にする。
- ②減らしたい人は、食べる前に必ず減らす。
→(減らしたけど、食べたかったら増やすのは◎)
- ③おかわりしたものは、残さず食べる。
- ④おかわりじゃんけんして勝った人は、欲しいもの+何かを増やす。(残っている場合のみ)
- ⑤食缶が空になるまで、おかわりを呼びかける。



栄養士・調理員からの感謝状!



習志野っ子の活躍

全国・東日本・関東大会

「音楽のまち習志野」を支える原動力。市内の児童生徒が音楽コンクールで、ホールに音色を響かせました。総体関東大会の結果もご覧ください。(文責 指導課 野口)

音楽コンクール(合唱・マーチング・吹奏楽)



第5回全日本小学校合唱コンクール

令和5年11月12日(日) 福岡シンフォニーホール

全国大会出場

大久保東小学校 合唱部



私たち合唱部は、何にでもチャレンジ!日々進化!を合言葉に活動しています。6年生にとっては最後のコンクールを、最高の演奏で終わりたいという気持ちで精一杯練習してきました。その努力が実り、この度「全日本小学校合唱コンクール全国大会」に出場できることとなりました。大会が近づくごとに練習は厳しくなりますが、自分たちがどこまで出来るか、仲間を信じて力を合わせて全力で挑戦したいと思います。
(部長 久保 遥月さん)

第42回 全日本小学生バンドフェスティバル

令和5年11月18日(土) 大阪城ホール

大久保小学校 出場!!

第36回 全日本マーチングコンテスト

令和5年11月19日(日) 大阪城ホール

第四中学校 出場!!

第23回 東日本学校吹奏楽大会

令和5年10月8日(日) 山梨県立県民文化ホール

東習志野小学校吹奏楽部 金賞



実花小学校吹奏楽部 銀賞



第77回総合体育大会 関東大会結果 (入賞)

【団体】

〔バレーボール男子〕 第七中 **ベスト16**

【個人】

〔陸上〕 第四中 (2年) 小寺慎之介 男子2年 100m

〔柔道〕 第四中 (2年) 小川舞桜 女子 57kg 級



第8位

ベスト8

全力を尽くし 熱演・熱戦! かけがえのない思い出に

キラリ☆と輝く 習志野っ子の活躍



千葉県中学校英語発表会

10月4日(水)に千葉県中学校英語発表会が行われ、第四中学校の菊池さんがスピーチの部で見事、第1位となりました。11月には千葉県代表として、関東大会に出場します。



スピーチの部 **第1位**
第四中学校 3年

菊池 華瑛 さん

千葉県代表 選出!!



令和5年度 習志野市防犯ポスター展

10月1日(日)にプラッツ習志野にて「習志野市防犯ポスター展」の入賞者が表彰されました。

市長賞



箕輪 一沙さん
(第六中 3年)

警察署長賞



寺田 玲央さん
(谷津小 5年)

防犯協会会長賞



浅井 結衣さん
(実花小 6年)

警察連絡協議会会長賞



寺田 愛結さん
(第一中 2年)

特殊防犯協力会会長賞



小原 直幸さん
(秋津小 5年)

令和5年度 防火・防災ポスター展

千葉県防災危機管理部が主催の「防火・防災ポスター展」にて、習志野市内の児童生徒が多数入賞しました。

最優秀賞



寺田 愛結さん
(第一中 2年)

優秀賞



片岡 柚葵さん
(第一中 3年)

優秀賞



川村 奈央さん
(第一中 3年)

消防協会賞



安井 絢さん
(津田沼小 5年)

消防協会賞



織戸 華代さん
(第一中 2年)

消防協会賞



加藤 凜花さん
(第四中 2年)

少年女性防火委員会賞



白石 莉菜さん
(第一中 2年)

少年女性防火委員会賞



筑波 春陽さん
(第一中 3年)

佳作



遠藤 そらさん
(第一中 3年)

佳作



南 雄樹さん
(津田沼小 5年)

佳作



押尾 永海里さん
(津田沼小 3年)

多くの賞をいただきました!



9月1日は関東大震災から100年目となる防災の日でした。児童生徒が制作したポスターにより、防火・防災思想が普及、啓発されました。

令和5年度 習志野市教職員研修



習志野市では教職員の資質能力の向上を図るため、目指す教職員像を『児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」を導く教職員』として、各種研修を行っています。年間を通して、キャリアステージに応じた様々な研修を行い、職能成長に努めています。



令和5年度 初期層教職員研修



<小学校教科指導法基礎研修>

実施日：8月1日（火）

小学校の初期層教職員を対象に実施しました。社会科指導の基礎基本を、屋敷小学校校長根川賢先生より学びました。問題解決的学習の過程について学び、多くの実践例を通して、資料の大切さと子供のやる気を引き出す声掛けについて学びました。



<中学校学級経営基礎研修>

実施日：8月3日（木）

中学校の初期層教職員を対象に実施し、道徳教育の視点を取り入れた学級経営の在り方を、元大久保東小学校校長の小宮健先生より学びました。また、考え議論する道徳の授業について、模擬授業を通して分かりやすく教えていただきました。



<初期層教職員研修>

実施日：8月4日（金）

千葉県総合教育センター主催の「出前あすなろ塾」との連携研修で、研究指導主事から、「集団の育て方」、「わかる・できる授業づくりのポイント」について、実技を通して詳しく学びました。

ICT活用教育研修



実施日：7月31日（月）

8月18日（金）22日（火）

ICTマスターが講師となり、各教科におけるタブレット端末の有効利活用について、実践例を紹介したり、ICT支援員から授業で使えるアプリについて学んだりしました。

（文責 総合教育センター 岩田）

AI型デジタルドリル



習志野市教育委員会は、児童・生徒の教育を更にサポートし、学習の機会を向上させるために、新しいデジタルリソースを導入しました。AI型デジタルドリルeライブラリは、豊富な教材と学習ツールで、教科別・単元別に学年を選んで学習することができ、解いた問題に対して、児童・生徒の課題部分をフィードバックできることが特徴です。継続的に活用しデータを蓄積するほど、一人一人に応じた内容に変わってきます。学校での学習だけでなく、家庭学習での効果的な活用が期待されます。

（文責 総合教育センター 白神）

地域のスポーツ振興に寄与された方々

スポーツの秋です。日々、習志野市のスポーツ振興に寄与して頂いている方々を紹介いたします。
(文責 生涯スポーツ課 中村)

令和5年度習志野市スポーツ協会功労者(13名)

9月22日(金)に令和5年度習志野市スポーツ協会表彰式が行われ、習志野市のスポーツ振興に貢献した方々の功績が称えられました。



【スポーツ協会功労者で表彰された方々】

- | | | | |
|--------------|----|----|---|
| 野球連盟 | 木田 | 泰弘 | 様 |
| 剣道連盟 | 内宮 | 実晃 | 様 |
| 卓球連盟 | 佐藤 | 正 | 様 |
| ソフトボール協会 | 藤田 | 勉 | 様 |
| 陸上競技協会 | 中村 | 洋平 | 様 |
| (一社)サッカー協会 | 大川 | 博 | 様 |
| テニス連盟 | 松本 | 高広 | 様 |
| クレ射撃協会 | 杉本 | 公夫 | 様 |
| バドミントン協会 | 菊池 | 浜子 | 様 |
| 弓道協会 | 矢野 | 忠弘 | 様 |
| ユニバーサルホッケー協会 | 小林 | 靖明 | 様 |
| パークゴルフ協会 | 小島 | 靖行 | 様 |
| スポーツ少年団 | 吉田 | 経夫 | 様 |

令和5年度習志野市スポーツ協会優秀選手・優秀団体(8名・3団体) 第72回千葉県民体育大会優秀選手・優秀団体(2名・6団体)

- | | | | | |
|--------------|---------|----|---|---|
| ＜優秀選手＞ | | | | |
| ソフトテニス連盟 | 早 | 津 | 小 | 合 |
| バドミントン協会 | 後 | 藤 | 智 | 彦 |
| バドミントン協会 | 谷 | 賀 | 千 | 香 |
| バドミントン協会 | 芳 | 鍋 | 岳 | 洋 |
| バドミントン協会 | 真 | 田 | 絹 | 子 |
| バドミントン協会 | 山 | 林 | 大 | 介 |
| バドミントン協会 | 若 | 本 | 美 | 衣 |
| バウンドテニス協会 | 岡 | | 由 | 恵 |
| | | | | 様 |
| ＜優秀団体＞ | | | | |
| ソフトボール協会 | 習志野 | スー | パ | ガ |
| ソフトボール協会 | 習志野 | 高 | 等 | 学 |
| バドミントン協会 | Shot'04 | (シ | ョ | ツ |
| | | | | 様 |
| | | | | 様 |
| | | | | 様 |
| ＜県民体育大会優秀選手＞ | | | | |
| 陸上競技協会 | 白 | 井 | 佑 | 岳 |
| 陸上競技協会 | 宮 | 部 | 灯 | 哉 |
| | | | | 様 |
| ＜県民体育大会優秀団体＞ | | | | |
| 野球連盟 | 男 | 子 | チ | ー |
| ソフトボール協会 | 女 | 子 | チ | ー |
| ソフトボール協会 | 女 | 子 | チ | ー |
| バスケットボール協会 | 女 | 子 | チ | ー |
| ボクシング連盟 | 女 | 子 | チ | ー |
| ボウリング協会 | 女 | 子 | チ | ー |
| | | | | 様 |
| | | | | 様 |
| | | | | 様 |
| | | | | 様 |
| | | | | 様 |



【優秀選手・優秀団体で表彰された方々】

受賞者の皆様
日々、ご尽力いただき
ありがとうございます



特別国民体育大会(鹿児島)※ 習志野市在住出場者

※令和2年に開催される予定であった第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」は新型コロナウイルス感染症の影響により、令和5年に特別国民体育大会として開催することとなりました。

岡田 拓朗	バレーボール	(習志野高等学校)
澤口 魁仁	バレーボール	(習志野高等学校)
狩俣 龍矢	バレーボール	(習志野高等学校)
甲斐 優人	ボクシング	(習志野高等学校)
佐伯 和馬	ボクシング	(習志野高等学校)
小川 皓太郎	柔道	(習志野高等学校)
久保田 真帆	サッカー	(第三中学校)
青柳 淳	水泳	
尾崎 健太	水泳	
小林 拓海	水泳	
蒔田 直人	剣道	
林 歩美	ライフル射撃	
長谷川 強	ウエイトリフティング	
田淵 靖浩	セーリング	



【特別国民体育大会習志野市在住出場者激励式】

令和5年9月22日(金)

第73回千葉県民体育大会・第74回千葉県民体育大会冬季大会 習志野市選手団 参加競技

- ・野球競技 ・水泳競技 ・剣道競技 ・バレーボール競技 ・卓球競技 ・ソフトボール競技
- ・陸上競技 ・スポーツクライミング競技 ・柔道競技 ・サッカー競技 ・テニス競技
- ・バスケットボール競技 ・ソフトテニス競技 ・クレ射撃競技 ・ボクシング競技 ・体操競技
- ・バドミントン競技 ・ライフル射撃競技 ・スキー競技 ・ゴルフ競技 ・ボウリング競技
- ・空手道競技 ・なぎなた競技 ・弓道競技 ・スケート競技 ・ラグビーフットボール競技
- ・ウエイトリフティング競技 ・アーチェリー競技

【大会会期 令和5年8月26日(土)～令和6年2月10日(土)】

習志野市中央ロータリークラブ贈呈式

児童会用の玩具及び本等の御寄贈を頂いたことを受けて、9月21日(木)に習志野中央ロータリークラブへ感謝状が授与されました。

**玩具や本を御寄贈いただき
ありがとうございました!!**



【児童会へ御寄贈いただいた玩具や本】

習志野市中央ロータリークラブ
会長:伊東 弘樹 様(左写真前列中央)

習志野市立秋津小学校

児童 240 人 学級 12 (自閉症情緒障害特別支援学級 2)

学校教育目標

国際社会に生きる知・徳・体の調和のとれた児童の育成



リレー連載

私たちのまち 習志野の学校

No. 20

〈学校の特徴 校章の由来〉【合言葉 あきつ あいさつ ありがとう】

1980年に習志野湾岸を埋め立ててできた秋津地域は、地域の中心にある秋津小学校と共に今年で43年目を迎えます。秋津小学校は、『地域と共にある学校』として、秋津コミュニティルームの開設やピオトープの完成等、また県下初の学校運営協議会は、今年で17年目となります。校章は、街路樹が黄金色にさんざめき、青空に赤とんぼが群れ飛ぶ街として、また、とんぼは古来、秋津(あきつ、あきぞ)と呼ばれていたこともあり、この校章となりました。



1980年 開校時



2020年 40周年行事

秋津小学校の歴史と子供たちの姿が現れた校歌

秋津のうた(校歌)

小林純一 作詞
中田喜直 作曲

明るい朝の 大空と
木々のみどりを うつつ窓
さうです ここは 名も秋津
やがては あの空 とびかける
強い力の 育つところ
習志野秋津 みんなの秋津

波立つ海を 埋め立てて
できた この町 この校舎
さうです ここに また きょうも
かがやく光を 浴びながら
声を合わせて 歌うところ
習志野秋津 みんなの秋津

秋津と空の 校章が
光りきらめく 旗の下
足音高く ほこらしく
理想を目ざして ただ進む
誓い新たに 結ぶところ
習志野秋津 みんなの秋津



【正門脇に貼られている看板】

学校と地域の想いがつづられています。

〈地域とのかかわり〉

児童と共に行うクリーン運動、毎学期全学年行っている読み聞かせ、恒例の米作り等、秋津小学校には地域の方々と共に学習したり、行事を行ったりする場が数多く実施されています。



〈体育科研究 ポール領域〉



秋津小学校が教科を体育として研究し始めて、今年で14年目となります。技能の習得がしやすくなるような教材・教具の工夫や児童の気付きや思考の変容を研究してまいりました。今年度より「ともに学び、運動に取り組もうとする力を育む体育学習」を主題とし、子どもたちがより「やってみたいな、できそうだな、わかった」などと運動に取り組んでいけるよう研鑽してまいります。

(文責 教頭 村山 智恵子)

～習志野高校ニュース～ 雑草の如く遅しく

習志野高校では、8月24日(木)社会教育課の事業である「市民カレッジ」を実施しました。市民カレッジとは、本市の歴史や自然、行政などを含んだ「習志野学」を中心として地域の特色を生かした講義を受講し、わがまち習志野を学ぶ活動です。

約40名の方に来校いただき、学校紹介・吹奏楽部の演奏鑑賞・美術作品制作・学校施設見学を実施しました。



美術担当 西川教諭によるステンシルの技法を説明する様子



運営委員の文化祭参観の様子 ～茶道体験～

地域と共に歩む

9月16日(土)に第2回学校運営協議会を実施しました。年間計画には、使用教材の協議が計画されており、教科書の確認等を行いました。また、協議会当日に文化祭を開催しており、学校の様子も合わせて参観していただきました。運営委員の方々には茶道体験や生徒との交流を楽しんでいただきました。

【これからも応援される学校を目指し】

一人でも多くの地域の方々へ、習志野高校の「良さ」「部活動の頑張り」を伝えることで、いつまでも応援され続け、それに応えていく学校を目指すことが地域と『共に』歩み続けることに繋がると信じて学校運営に取り組んで参ります。

～好きです ふるさと習志野～

教育長コラム



県中学校英語発表会が、10月4日に千葉市民会館で開催されました。この発表会は高円宮杯全日本中学校英語弁論大会の予選会を兼ねており、各地区の代表23名が参加する中、第四中学校3年菊池華瑛さんが、スピーチの部で第1位を獲得する快挙を成し遂げました。今後は菊池さんを含む上位3名が、11月22日の決勝予選大会(関東地区)に進むこととなります。スピーチは英語での表現力はもちろんのこと、聞き手の心を動かす内容、すなわち文章表現力が問われます。ご本人の努力はもとより、指導をされた先生方、そしてALTの先生には感謝の気持ちで一杯です。また、英語部会の先生方のお力添えて、市内大会を夏休みに行うようになり、練習の期間を充実させたこと、さらには一昨年よりマイクなしでも声の通る、プラッツ習志野の市民ホールを使用させていただけるようになったことなど、オール習志野で勝ち取った代表権でもあります。私も県大会まで拝見(聴)させていただきましたが、市内大会において、ホール全体が醸し出す緊張感が、今回の結果につながったものと考えています。菊池さんには、さらに高みを目指して頑張ってもらいたいと思っています。また、音楽の分野でも、大久保東小が全日本小学校合唱コンクール(10月12日福岡)に、習高が全日本吹奏楽コンクール(10月22日名古屋)に出場することができました。さらに、大久保小、第四中、習高の市内3校が同時に全日本バンドフェスティバル・同マーチングコンテスト(11月18・19日大阪)に出場を決め、活躍が期待されます。(他校の活躍は別項で紹介します)本市の児童生徒は無限の可能性を秘めており、様々な活動にチャレンジできるよう環境整備に努めてまいります。(教育長 小熊 隆)